

いたばし 板橋ふれあい農園会給食だより



がつ 12月 にんじん

いたばし 板橋ふれあい農園会とは、のうえんかい板橋区で農産物を作っている区内農家の方の会です。がっこう学校に新鮮で安全な野菜を届けてくださいます。今回のにんじんは、やまぐちけんじ山口賢治さん、かすが きいち春日喜一さん、そめみやとしあき染宮利章さん、きむらしげお木村繁夫さん、たなかこうたろう田中耕太郎さん、やまぐちしゆんた山口駿太さん、たなかまさひろ田中将浩さんを中心にご作りました。

◆ ◆ ◆ にんじんができるまで ◆ ◆ ◆

1 耕うん(8月)

にんじんの根が育つ場所に、土の塊や石などのかたいものがあると根が分かれてしまいます。

それを防ぐために、機械で土をやわらかくし、石などを取り除きます。



種をまく機械

2 種まき(8月下旬～9月上旬)

10cmごとに穴をあけて、1つの穴に3粒ずつ、種をまきます。にんじんが芽を出すためには水分が必要なので、毎日、朝夕の2回、たっぷりと水やりをします。



3 芽が出る (種まきから7～10日後)



4 間引き(10月上旬)

3粒種をまいたうち、丈夫な芽を1つ選んで、他の芽を抜きます。これを「間引き」といいます。

5 土寄せ(10月中旬)

根が土より上に出ないように、土をかけます。これを「土寄せ」といいます。これにより、日光に当たって、根が乾燥して固くなったり、色が変わったりすることを防ぎます。

6 収穫(12月)(種まきから約100日後)

毎日、雑草を抜いたり、虫がついていないか見たりしながら育てます。収穫の頃には、根の先まで含めると、長さ25cmくらいまで成長します。



いたばし 板橋区食育キャラクター
いたばちい



今年の品種は、「向陽2号」「愛紅」
「紅あかね」「初あかね」だっちい!